

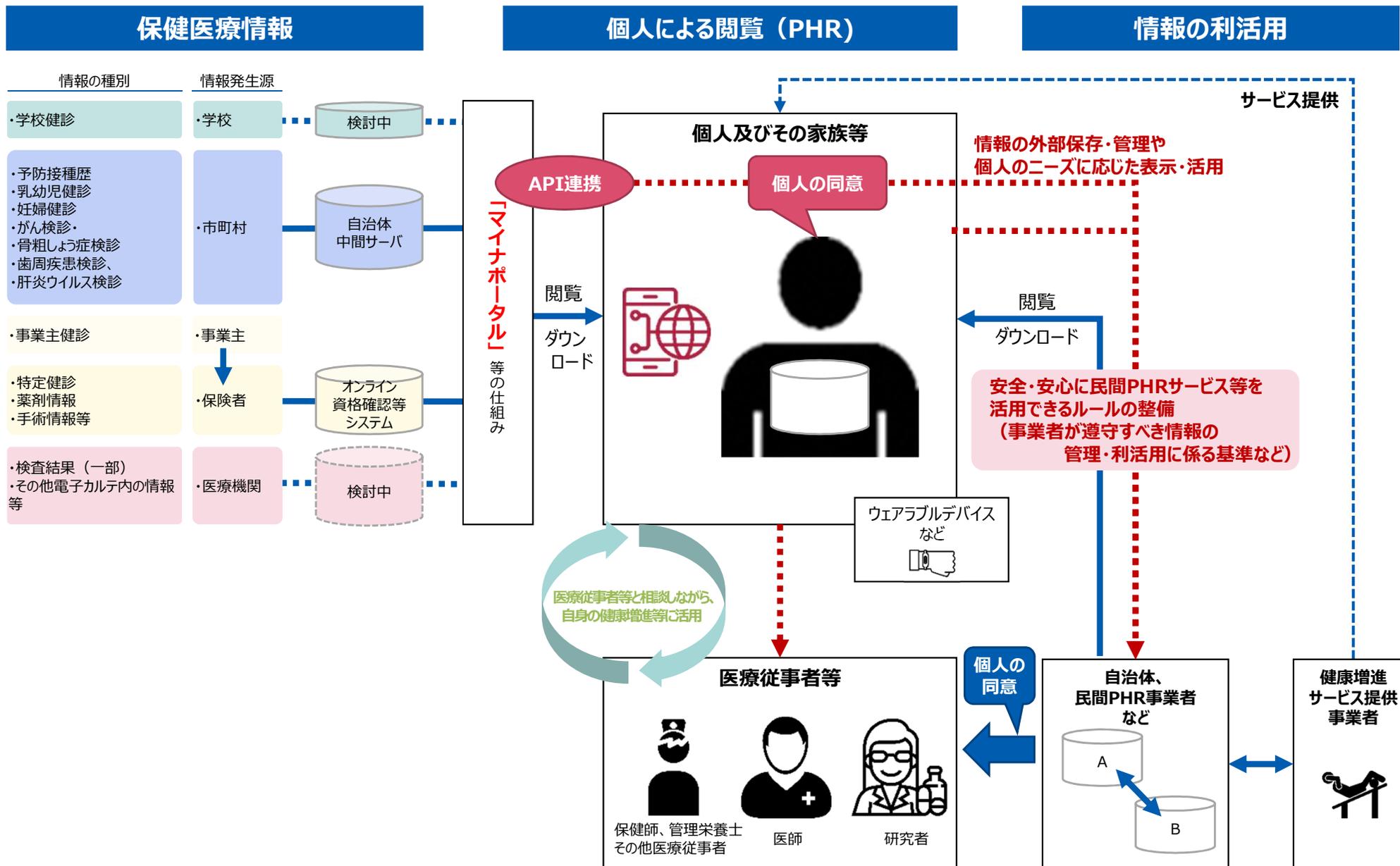
PHRの全体像

第6回健康・医療・介護情報利活用検討会、
第5回医療等情報利活用WG及び第3回健診等情報利活用WG
(令和2年12月9日)資料より抜粋

第44回厚生科学審議会
地域保健健康増進栄養部会

資料6

令和4年2月2日



データヘルス改革に関する工程表

第8回データヘルス改革推進本部
(令和3年6月4日) 資料より抜粋、一部改変

- マイナポータル等を通じて、自身の保健医療情報を把握できるようにするとともに、UI（ユーザインターフェイス）にも優れた仕組みを構築する。
また、患者本人が閲覧できる情報（健診情報やレセプト・処方箋情報、電子カルテ情報、介護情報等）は、医療機関や介護事業所でも閲覧可能とする仕組みを整備する。
→ これにより、国民が生涯にわたり自身の保健医療情報を把握できるようになるとともに、医療機関や介護事業所においても、患者・利用者ニーズを踏まえた最適な医療・介護サービスを提供することが可能になる。

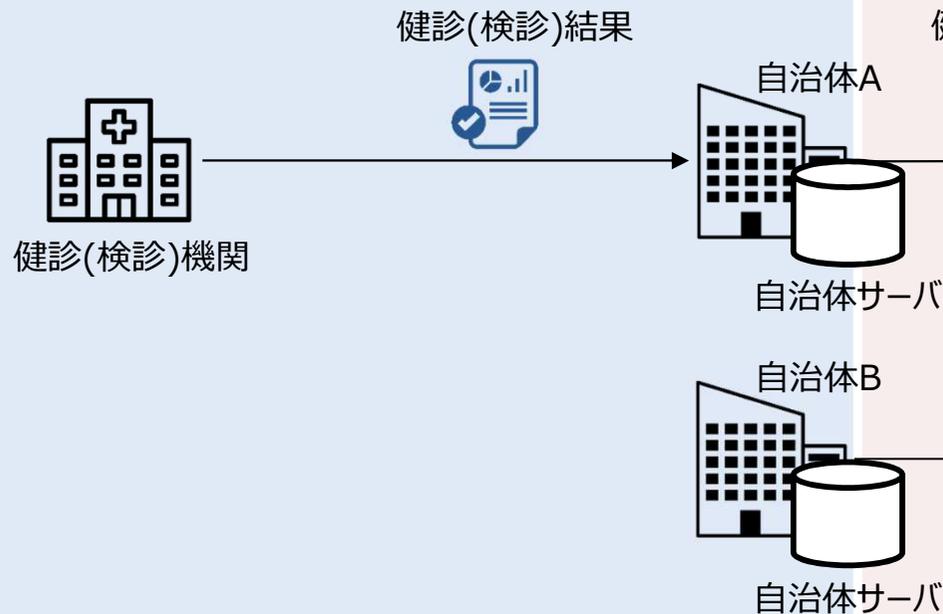
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
自身の保健医療情報を閲覧できる仕組みの整備	健診・検診情報							
	乳幼児健診・妊婦健診	●						
	特定健診		●					
	事業主健診（40歳未満）		法制上の対応・システム改修		●			
	自治体検診 がん検診、骨粗鬆症検診 歯周疾患検診、肝炎ウイルス検診		データ標準化、システム要件整理	システム改修	●			
	学校健診（私立等含む小中高大）		標準的な記録様式の策定	実証実験、システム改修	システム整備でき次第、随時提供開始		●	
	予防接種 定期接種 A類：ジフテリア、百日せき等 B類：高齢者のインフルエンザ、肺炎球菌	●	2017年6月以降の定期接種歴はマイナポータルで閲覧可能（2017年6月～） ※新型コロナワクチンについては、ワクチン接種記録システム（VRS）を開発・運用			※可能な限り早い段階で、新型コロナワクチンについても閲覧可能に		
	安全・安心な民間PHRサービスの利活用の促進に向けた環境整備		ガイドライン整備	●	業界団体等と連携したより高い水準のガイドラインの整備	業界団体等と連携した第三者認証の立ち上げ	●	適正な民間PHRサービスの提供に向けて第三者認証制度等の運用開始（2023年度～）
より利便性の高い閲覧環境の在り方の検討			マイナポータルの利便性向上に向けた取組	ヒストリカルな健康情報にアクセスしやすい仕組みなど、利便性の高い閲覧環境の在り方を検討（マイナポータル以外の方策を含む）		●	検討結果を踏まえた措置（2024年度以降順次～） ※可能なものから2024年度を待たずに順次閲覧可能に	

自治体サーバを介した検診情報の標準様式の作成による情報共有及びマイナポータルとの情報連携

●標準様式について

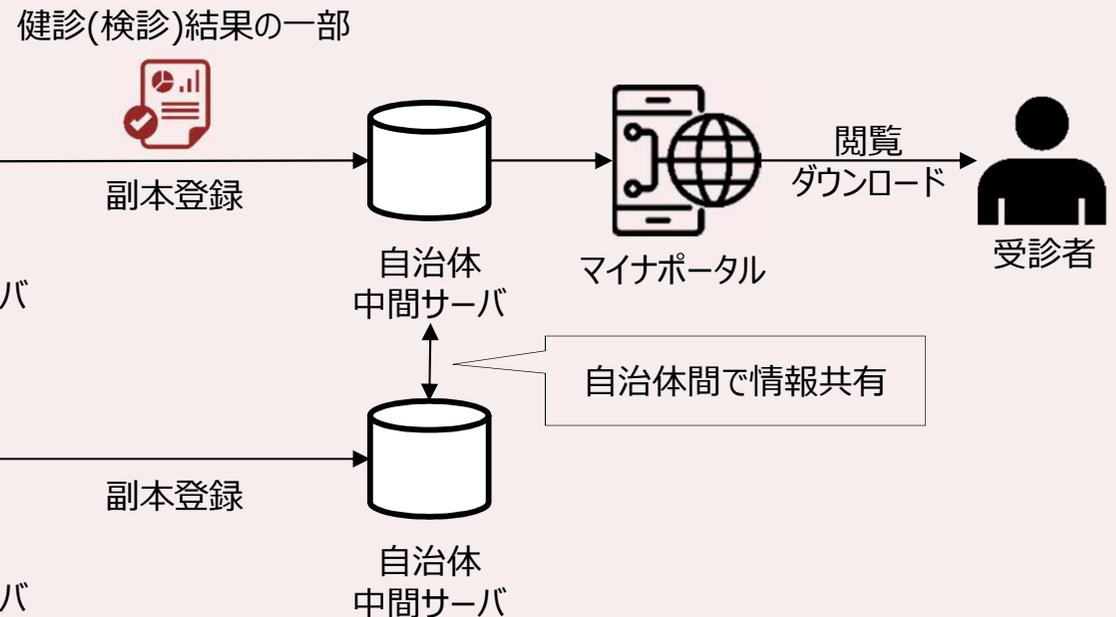
①健診機関から自治体へ提出する健診結果用フォーマット (健診指針に基づく標準フォーマット)

2021年8月にフォーマットを公開



②自治体が中間サーバに登録するためのフォーマット (番号法に基づくデータ標準レイアウト)

2022年改版にて反映予定



●スケジュール

データフォーマットの素案作成

番号法改正(通常国会)

データフォーマット案等の自治体向けパブコメなど

仕様の確定(8月頃)

3月

3月

2020年

2021年

2022年

市町村におけるシステム改修
(8月~2022年3月)

マイナポータルでの提供開始
(2022年度早期)

疾病予防対策事業費補助金における
健(検)診結果の利活用に向けた
情報標準化整備事業に基づき補助

